



国際科学交流 台湾西松高級中学の皆さんが来校！

4月17日（水）、台湾姉妹校の西松高級中学から32名の高校生が来校し、高校生と交流を行いました。歓迎会では両校校長の挨拶、生徒代表の挨拶、向陽高校の学校紹介、記念品交換、パフォーマンスを行いました。その後、各クラスに分かれて、フルーツバスケットやトランプ、スカベンジャーハントなどのレクリエーションをしながら交流しました。昼休憩には、バディの生徒と生徒ホールにて昼食交流も図りました。

また、3年生環境科学科では、科学的に交流を行いました。お互いの課題研究について、西松高級中学の生徒はプレゼンテーション（口頭発表）を、本校生徒は英語でポスター発表を行いました。

理屈抜きに、日本と台湾の生徒同士、とても楽しそうにコミュニケーションを取っていました。これからもこの国際科学交流プログラムが充実し、本校生徒の国際性や科学コミュニケーション力の育成が図ることができればと考えています。



以下、生徒の感想です。

「将来的に英語で話す機会が多いと思うので、こういう交流を積極的に行って、英語でやりとりする力をつけたい。」「今まで海外の人が来ても伝わるかどうか不安で、自分から話そうとしなかったけど、今日はたくさん話すことができたので自信につながった。」「西松の生徒と交流して、海外に対する興味が一層深まった。」「台湾での取組を知ることができたし、自分たちの研究を伝えることができ、楽しかったです。」「いろんな国の人と交流するのはとても楽しいし、もっと話したいという意欲が上がったと思う。英語で話すことの大変さを思い知った分、もっともっと話したいと思った。」「台湾の文化を知れて、良い経験になった。」